



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 旭コンクリート工業株式会社
コード番号 5268 URL <http://www.asahi-concrete.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 浦上 勝治

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 塚原 宏

TEL 03-3542-1206

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	9,329	7.9	678	68.2	696	68.3	479	75.0
26年3月期第3四半期	8,644	2.0	403	—	414	—	274	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
27年3月期第3四半期	36.48		—	
26年3月期第3四半期	20.85		—	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	14,507		8,808		60.7	
26年3月期	14,659		8,243		56.2	

(参考)自己資本 27年3月期第3四半期 8,808百万円 26年3月期 8,243百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	10.00	10.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,200	2.0	900	14.6	910	14.8	600	39.2	45.64

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	13,233,000 株	26年3月期	13,233,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	85,198 株	26年3月期	85,198 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	13,147,802 株	26年3月期3Q	13,147,875 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期決算レビューの対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に関する監査法人のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策、日銀の金融緩和策のもとで企業収益の改善が進み株式市場も活況を呈しました。一方、急激に進んだ円安や消費税増税が影を落として個人消費は低迷しており、景気は確実な回復軌道に至らない状況です。中国経済減速、原油市況軟調など海外経済でのさらなる不安定要因も加わって、その先行きは不透明な状況が続いております。

また、公共事業関連業界では人手不足や資材価格上昇を受けて入札不調が重なる等で工事の進捗に遅れが見られ、当社の関連するコンクリート製品業界もその影響が及んでおり、同業社間の競争も激化し事業を取り巻く環境は厳しさを増しております。

当社は、耐震性及び止水性に高い評価を戴いている接着継手工法「TB（タッチボンド）工法」と周辺環境に優しく施工性を誇る「ECO-C・L（エコ・クリーンリフト）工法」に改良を加えながら一層の拡販・普及を図り、主力製品ボックスカルバートをはじめ各種製品の販売に努め、特に現場打構造物のプレキャスト化への提案営業を重点的に進めてまいりました。

こうした取組みの結果、当第3四半期累計期間の売上高は93億2千9百万円となり、前年同四半期に比べ7.9%の増収となりました。

一方、損益面におきましては、営業利益は6億7千8百万円となり前年同四半期に比べ68.2%の増益、経常利益は6億9千6百万円となり前年同四半期に比べ68.3%の増益となりました。

さらに特別利益、特別損失を加減算し、税金費用2億1千3百万円を控除した結果、四半期純利益は、4億7千9百万円となり前年同四半期に比べ75.0%の増益となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

（コンクリート関連事業）

コンクリート関連事業は、受注高は100億6千4百万円、売上高は92億9千1百万円（前年同四半期は86億6百万円）、セグメント利益は6億9千3百万円（前年同四半期は4億1千万円の利益）となりました。

①セメント二次製品部門は、受注高が48億2千万円、売上高は41億9千6百万円（前年同四半期は36億8千8百万円）となりました。

②工事部門は、受注高が4億5千9百万円、売上高は3億9千4百万円（前年同四半期は2億6千7百万円）となりました。

③その他部門は、工事事業資材及びコンクリート製品に装着する資材等で、選別受注に努めた結果、受注高は47億8千3百万円、売上高は47億円（前年同四半期は46億5千1百万円）となりました。

（不動産事業）

不動産事業は当社が保有するマンション等の賃貸収入で、売上高は3千7百万円（前年同四半期は3千7百万円）、セグメント利益は1千5百万円（前年同四半期は2千万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は145億7百万円（前事業年度末に比べ1億5千1百万円の減少）となりました。流動資産は前事業年度末に比べ9億1千1百万円減少し95億3百万円となり、固定資産は7億5千9百万円増加し50億3百万円になりました。流動資産の主な減少は、受取手形及び売掛金の6億5千7百万円及び現金及び預金の6億5千4百万円の減少であります。

当第3四半期会計期間末における負債は56億9千8百万円（前事業年度末に比べ7億1千6百万円減少）となりました。流動負債は前事業年度末に比べ8億2千4百万円減少し50億4千8百万円となり、固定負債は前事業年度末に比べ1億8百万円増加し6億5千万円となりました。流動負債の主な減少は支払手形及び買掛金の減少5億2千7百万円であります。

当第3四半期会計期間末における純資産は88億8百万円（前事業年度末に比べ5億6千4百万円増加）となりました。主な増加はその他有価証券評価差額金の増加2億1千6百万円であります。その結果、自己資本比率は60.7%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期通期の業績予想につきましては、当初の見通しを上回る進捗となっております。平成26年11月12日に公表いたしました数値を、下表のとおり修正いたします。

平成27年3月期通期業績予想数値の修正（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	13,200	800	820	500	38.03
今回修正予想 (B)	13,200	900	910	600	45.64
増減額 (B - A)	—	100	90	100	—
増減率 (%)	—	12.5	11.0	20.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	12,940	785	793	431	32.79

(注) 上記の業績予想には、現時点での入手可能な情報に基づく、将来予想が含まれていますが、今後、状況の変化により、実際の業績と記載の数値が、異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

これに伴う当第3四半期累計期間の期首の利益剰余金及び当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,844,076	3,189,252
受取手形及び売掛金	5,161,819	4,504,294
電子記録債権	116,181	197,434
製品	1,040,043	1,335,120
原材料及び貯蔵品	129,255	124,102
その他	129,659	158,741
貸倒引当金	△5,858	△5,230
流動資産合計	10,415,177	9,503,716
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	206,636	203,203
機械及び装置(純額)	223,389	219,110
土地	1,678,262	1,677,601
その他(純額)	463,220	479,067
有形固定資産合計	2,571,508	2,578,983
無形固定資産		
	72,702	72,950
投資その他の資産		
投資有価証券	1,428,797	823,832
関係会社株式	—	1,350,939
その他	201,017	206,745
貸倒引当金	△30,068	△30,000
投資その他の資産合計	1,599,746	2,351,517
固定資産合計	4,243,957	5,003,451
資産合計	14,659,135	14,507,167
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,864,221	3,337,141
短期借入金	1,300,000	1,300,000
未払法人税等	331,910	70,832
賞与引当金	91,990	51,712
その他	285,325	288,952
流動負債合計	5,873,448	5,048,639
固定負債		
退職給付引当金	70,665	68,907
長期末払金	89,180	89,180
その他	382,265	492,226
固定負債合計	542,111	650,314
負債合計	6,415,559	5,698,954

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,204,900	1,204,900
資本剰余金	819,054	819,054
利益剰余金	5,823,364	6,171,571
自己株式	△44,900	△44,900
株主資本合計	7,802,418	8,150,625
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	441,157	657,587
評価・換算差額等合計	441,157	657,587
純資産合計	8,243,576	8,808,213
負債純資産合計	14,659,135	14,507,167

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	8,644,881	9,329,096
売上原価	7,477,485	7,908,919
売上総利益	1,167,396	1,420,177
販売費及び一般管理費	763,860	741,251
営業利益	403,535	678,925
営業外収益		
受取利息	2,305	2,195
受取配当金	19,728	23,690
その他	6,258	10,788
営業外収益合計	28,292	36,674
営業外費用		
支払利息	10,309	10,201
その他	7,492	8,555
営業外費用合計	17,802	18,756
経常利益	414,025	696,844
特別利益		
固定資産売却益	204	1,162
投資有価証券売却益	20,167	668
特別利益合計	20,371	1,830
特別損失		
固定資産除却損	6,920	5,283
特別損失合計	6,920	5,283
税引前四半期純利益	427,477	693,391
法人税、住民税及び事業税	142,307	215,632
法人税等調整額	11,046	△1,926
法人税等合計	153,353	213,706
四半期純利益	274,124	479,684

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。